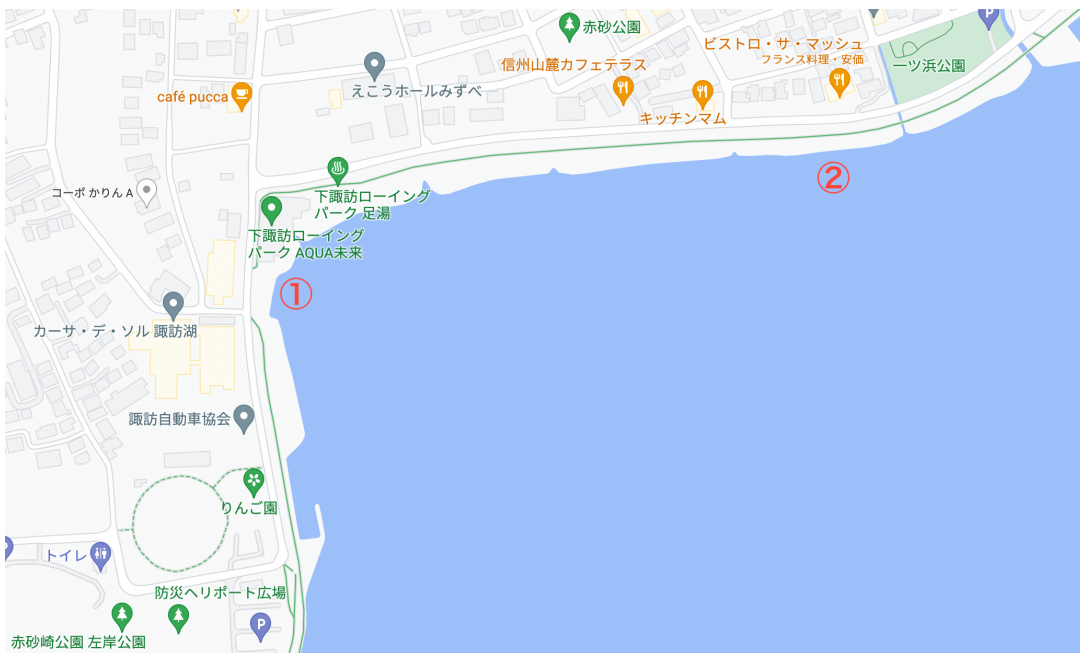


諏訪湖における水質水温調査報告書

- 検査日： 2022年5月6日（金）
- 採水場所： 諏訪湖トライアスロンコース（①, ②地点）
水質採水水深：50cm
水温測定水深：50cm



● 検査項目と場所

	検査項目	検査場所
細菌検査	大腸菌数、腸球菌数	弊社ラボ
化学的分析	pH	弊社ラボ
衛生検査	油膜、水温、天気、アオコ（クロロフィル、フィコシアニン）、臭気、溶存酸素	採水箇所
	降水量	気象庁諏訪のアメダス情報を使用

- ラボ： 大腸菌数、腸球菌数、pH は、弊社ラボにて検査を実施



● 採水：

採水は専用の採水器を使用し、指定した水深の水を採取する。採水後、速やかに保冷ボックスに入れ、弊社ラボへ移動する。



運搬時 採水時の水質を維持するため、0～10℃に保持するように搬送（検体が凍結しないことは確認済み）

● 検査方法と使用機器：各検査項目は、以下の測定機器を使用し、検査を実行する。

	検査項目	検査方法	検査機器
採水		採水器で採水し、滅菌済みポリエチレン製ボトルへ移し替える。	
運搬		製薬メーカー「治験薬/治験検体」輸送専用 BOX にて搬送	
細菌検査	大腸菌数 腸球菌数	TECTA-PDS B16 を使用し検査を行う。	 TECTA-PDS B16
衛生検査	アオコ 水温	目視及び YSI ProDSS - マルチ水質センサーのクロロフィル濃度、フィコシアニン濃度から判断する。	
	油膜・天気	目視により判断する	
	降水量	気象庁 諏訪のアメダス情報を使用 http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php	
	臭気の有無	採水時ボトルへ注水する際に嗅いで確認	

化学的分析	pH, DO	YSI ProDSS - マルチ水質センサー を使用して検査を行う。	

各検査における特記事項

- 細菌検査 TECTA-PDS を使用した検査を行う。
検体ごとに大腸菌、腸球菌専用のカートリッジを使用する。

事前準備 通常、専用カートリッジに 100ml の検体を投入し検査を行う。

検査時間 定量的な検査のため、標準の設定で行う。
大腸菌：最大 16 時間、腸球菌：最大 24 時間
（途中で菌を発見した場合は、上記時間より短くなる。）



- 検査結果 別紙参照

以上

水質検査結果報告書

採水日時： 2022年5月6日（金）

検査担当者名： 大宮

場所： 諏訪湖

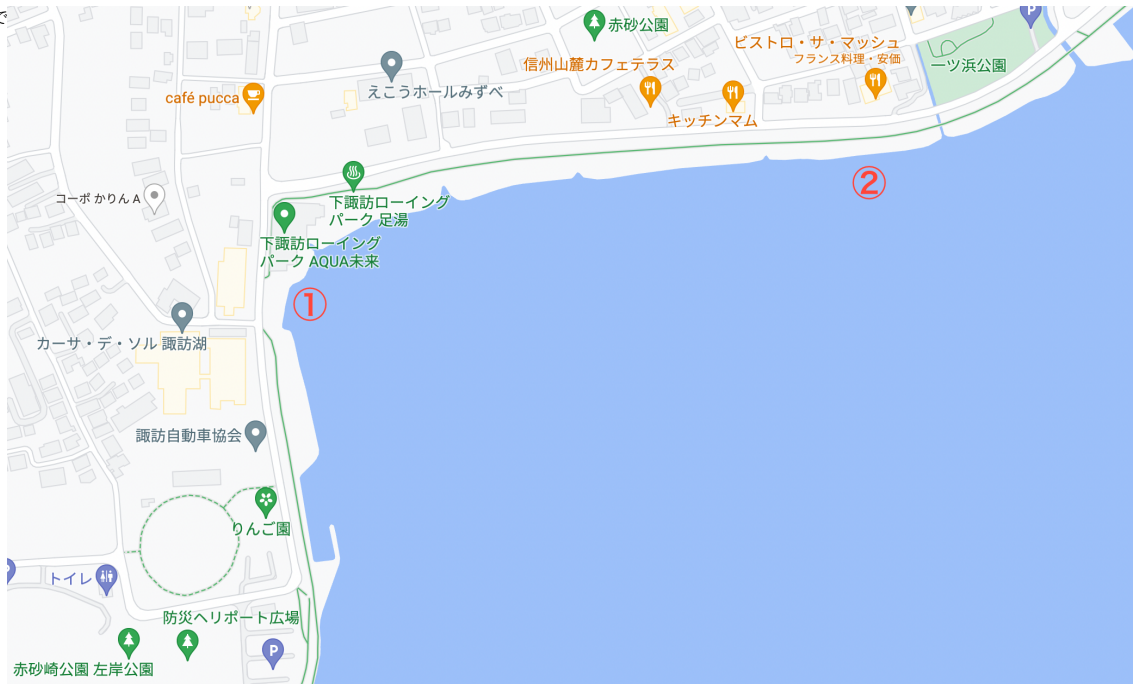
検査場所 下諏訪市内

地点 Number	採水時間 Water sampling time	天候 the weather	降水量 Precipitation amount	気温 Temperature	水温 Water temperature	油膜 Oil film	アオコ water bloom	臭気 Odor	外観 appearance
			mm	°C	°C				色
									Color
①	13:05	sunny	0.0	22.8	19	none	none	Odor less	light gray
②	13:20	sunny			18.1	none	none	Odor less	light gray

細菌検査								
地点 Number	大腸菌		腸球菌		pH	DO	クロロフィル	フィコシアニン
	E.Coli		Enterococcus		potential of Hydrogn	水深0.5m		
		fixed		fixed				
		CFU/100mL		CFU/100mL	-	mg/L	μg/L	μg/L
①		<1		1	7.3	11.27	31.03	1.39
②		3		7	7.0	11.38	25.17	1.53

採水地点情報

WTの基準値は以下で



コメント： WTの基準値は以下であるが、全て基準内である。

クロロフィル濃度・フィコシアニン濃度もアオコレベル0であり、安全な環境と言える。

参考：WT基準

- ・PH 値 6～9
- ・大腸菌の濃度が(500cfu/100ml)以下であること
- ・腸球菌の濃度が(200cfu/100ml)以下であること
- ・視覚的にアオコが観察されないこと。観察される場合、藍藻類（シアノバクテリア）が100,000細胞/mlを超えないこと